

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、26年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市立桃園球場等6スポーツ施設

所在地：別添資料のとおり

施設内容：①施設概要 別添資料のとおり

②事業内容 スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。

(2) 指定期間

平成27年4月1日～平成32年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：株式会社スピナ

所在地：北九州市八幡東区平野二丁目11-1

主な業務内容：貸ビル業、宅地建物取引業、設備保全業、施設保守点検業、太陽光発電設備工事業、建装工事業、総合ビル管理業、防疫業、タクシー・貸切バス・構内バス業、印刷業、造園・土木工事業、緑化環境業、堅パン・羊羹製造販売業、ゴルフガーデン

2 指定の経緯

平成26年8月13日～8月22日 募集要項配布

平成26年10月10日 募集締め切り

平成26年10月29日 指定管理者検討会の開催

平成26年11月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

ア 法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)

イ 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。

- ウ 募集説明会に参加していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が募集説明会に参加していること。)
- エ スポーツ施設の管理運営及びスポーツ振興に関するノウハウや能力を有すること。

(2) 応募状況

説明会参加：20団体

応募件数：1団体

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- ・ [市民代表] 奥永智絵 (西日本リビング新聞社リビング北九州編集グループ 副主事 編集長)
- ・ [財務専門家] 寺崎政勝 (寺崎政勝税理士事務所 所長)
- ・ [学識経験者] 南博 (公立大学法人北九州市立大学都市政策研究所准教授)
- ・ [スポーツクラブ経営・育成] 内田満 (NPO法人スポーツウェイヴ 理事長)
- ・ [企業経営有識者] 河邊政恵 (株式会社リバー不動産 代表取締役社長)

5 選定基準(例)等

選定基準(=審査項目)及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営(指定管理業務)に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営(指定管理業務)を行っていただくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営(指定管理業務)に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
	③ 複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2	管理運営計画の適確性

【有効性】
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。
④ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
(2) 利用者の満足度
① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
【効率性】
(3) 指定管理料及び収入
① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
② 収入が最大限確保される提案であるか。
③ 完全利用料金制の場合、市に対して収益の一部を納付する提案があるか。
(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性
① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
② 経費の配分は適切であるか。
③ 積算根拠は明確であるか。
④ 再委託が適切な水準で行われているか。
【適正性】
(5) 管理運営体制など
① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われるよう配慮されているか。
④ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
⑤ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル					平均	審査結果	得点
			構成員							
			A	B	C	D	E			
株式会社 スピナ	1 指定管理者としての適性									
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	4	4	5	4	4	4.2	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	4	5	5	3	4.2	4	4
	(3) 実績や経験など	5	5	4	5	5	4	4.6	5	5
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	4	4	5	4	4	4.2	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	4	3	5	4	4	4	4	8
	【効率性】									
	(3) 指定管理料及び収入	15	3	3	4	4	3	3.4	3	9
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	3	3	4	4	3	3.4	3	6
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	4	3	5	4	4	4	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	4	3	5	4	3	3.8	4	8
	合計	100	76	69	95	82	72	—		76
地元団体に対する優遇措置（3点）									79	

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

(2) 検討会における主な意見

- ・指定管理者としての適性については、実績は十分に有り、課題を次の取り組みに活かす真摯な姿勢が認められ、好感が持てる。また、安定的な人的・財政

基盤は評価できる。

- ・提案の有効性については、地域課題を踏まえ、多世代を対象とした意欲的な計画となっている。また、他施設との連携も十分取り組む姿勢が見られる。
- ・収支の効率性について、妥当な提案を行っており、特に問題は感じられない。
- ・運営体制などの適正性については、総合力を活かした十分な体制の構築が期待できる。平等利用・安全対策についても必要な基準を満たすものと考えられる。

(3) 検討会における検討結果

これまでの事業を発展させる内容であり、また、応募団体の総合力を活かした提案となっている。北九州市立桃園球場等6スポーツ施設の業務を行うのに十分な適格性を有していると考ええる。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、株式会社スピナを指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・施設の設置目的をよく理解し、指定管理業務を行うにあたり十分な財政基盤・人的基盤を有しており、安定した管理運営が期待できる。
- ・スポーツ振興や利用者の満足度の向上に資する取り組みがしっかり提案され、自主事業についても前期を上回る教室等を提案しており、また、サマースクールを開校するなど、新たな取り組みも見られる。
- ・収支についても、市の要求水準を満たしている。
- ・管理運営体制もしっかりしており、安全・危機管理体制も万全である。また、地域の大学との連携した事業実施など地域資源を活かした事業展開が十分見込まれる。

8 提案額

112,312千円（平成27年度～平成31年度までの各年度）

施設概要一覧

公募グループ	No	施設名	設置根拠条例	所在地 (北九州市)	建築年月日	供用開始年月日	構造	建築物等の概要等	駐車場台数	供用時間	休業日
北九州市立桃園 球場等6スポーツ施設	1	桃園球場	北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例	八幡東区桃園四丁目1番	昭和23年11月1日	昭和23年11月1日	RC造 平屋建 SRC造	競技場 14,180㎡、収容人員 10,500人 本部席・ベンチ・スタンド	60台(公園 駐車場)	(4~10月) 6:00~21:00 (11~3月) 6:00~18:00	年末年始(12月29日~翌年 1月3日)
	2	桃園運動場	北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例	八幡東区桃園四丁目2番	昭和28年6月1日	昭和28年6月1日	RC造	競技場 18,000㎡(夜間照明)、収容人員 11,000人	71台(公園 駐車場)	6:00~21:00	年末年始(12月29日~翌年 1月3日)
	3	桃園庭球場	北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例	八幡東区桃園三丁目1番	昭和33年12月1日	昭和33年12月1日	RC造 平屋建	競技場 6,984㎡(クレー3面、砂入り人工芝8面)壁打(2面)676㎡ シャワー室、事務室	50台(公園 駐車場)	(4~11月) 7:00~21:00 (12~3月) 7:00~18:00	年末年始(12月29日~翌年 1月3日)
	4	桃園弓道場	北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例		昭和40年4月1日	昭和40年4月1日	RC造 木造 CB造	5人立 延床350.0㎡ アーチェリー場併設	25台(公園 駐車場)	9:00~21:00	年末年始(12月29日~翌年 1月3日)
	5	桃園市民プール (室内)	北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例		昭和38年11月16日	昭和38年11月16日	S造、RC造 地上2 F地下1F	(室内) 公認50m(7コース)	桃園弓道場 と共用	(7、8月) 9:00~20:00 (5、6、9、10月) ・日祝9:00~20:00 ・その他13:00~20:00 (その他の月) 13:00~20:00	7、8月を除く月の月曜日(その 日が休日に当たるときはその 翌日) 年末年始(12月29日~翌年 1月3日)
		桃園市民プール (屋外)	北九州市都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例	昭和37年8月13日	昭和37年8月13日	RC造 CB造	(屋外) 50m(9コース)休止中、25m(9コー ス)、幼児用(1池) スタンド	桃園庭球場 と共用	9:30~17:00	1~6月まで及び9~12月ま で	
6	大谷球場	北九州市スポーツ施設条例	八幡東区大谷一丁目2番15号	昭和2年	平成16年7月1日	RC造	競技場面積 14,365m ² 本部席・ベンチ・スタンド 収容人員 5,000人 新日鐵住金から借受	73台	(4~10月) 6:00~21:00 (11~3月) 6:00~18:00	年末年始(12月29日~翌年 1月3日)	

北九州市立桃園球場等6スポーツ施設指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	株式会社スピナ
<p>1 指定管理者としての適性について</p>	<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>○理念：『地域貢献』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSV（共通価値の創造）経営 → 事業活動を通じて、地域社会問題解決に貢献する。 ・指定管理施設管理運営は、当社の事業を通じた『地域貢献活動の一環』である。 当社は創業以来、北九州市及び市民の皆様に育てていただいた企業である → 恩返し ・“超高齢社会問題” “介護・医療費問題” 等を、スポーツ振興を通じて解決していく。 <p>○基本方針：市民の皆様の健康増進を図るため、“快適な運動環境”を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①スポーツ振興の拠点づくりの推進 ②市民が気軽に、元気でスポーツ文化を楽しめる環境づくり ③利用者の立場に立った安全な施設運営とサービスの質を維持・向上する ④将来を見据えた提案型の管理運営の実践 <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <p>○人的基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピナ総従業員数：730名 ・あらゆる突発事案に対応する『臨時案件対応班』の活躍 ・経験豊富な北九州市指定管理3施設職員（39名）をプール運用 ・スピナ：建築物管理のプロフェッショナル → 自社施工による素早い対応・安全の確保 ・北スポ連：スポーツ振興のプロフェッショナル → 安定したスポーツ指導者の確保 <p>○財産基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期に渡る不況の中、32年間に渡り安定した黒字経営を継続 ・総合施設管理、不動産、環境、物品販売、緑化 他、様々な事業を展開 → いずれの事業においても、北九州市内トップクラスの事業規模 <p>(3) 実績や経験など</p> <p>○豊富な“指定管理施設管理運営” “スポーツ振興事業” 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『第一期・第二期 北九州市立 桃園球場等6スポーツ施設指定管理者』 ・『第一期・第二期 北九州市立 的場池球場等3スポーツ施設指定管理者』 ・『第一期 北九州市立 ひびきコスモス運動場指定管理者』 ・多種多様な自主事業開催実績 技能別：初・中・上級 / 年齢別：キッズ・ジュニア・シニア 目的別：腰痛改善・幼児とのスキンシップ・プロポーション 等 【目的別にカテゴリー分け ⇒ 参加しやすいスポーツ事業】

	<p>○豊富に保有する専門知識や資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物管理：建築物環境衛生管理技術者／危険物取扱者／消防点検資格者／清掃作業監督者 / 一級・二級ボイラー技士／第一種・第二種電気工事士 / 他多数 ・スポーツ振興：健康運動指導士／障害者上級スポーツ指導員／保健体育教諭（文科省）／テニス教師／水上安全法指導員／シナプスソロジー指導員／他多数 <p>○当運営団体の責任分担：施設管理運営の全責任はスピナにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北スポ連はスポーツ振興についてスピナに助言を行う“協力運営団体”である。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 管理運営計画の適確性</p>	<p>【有効性】に関する取り組み</p> <p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標利用者数：H27・260,000人／H28・265,500人／H29・267,500人／H30・270,000人／H31・275,000人 ○北九州市の意向や現状を把握、理解した上での、事業計画策定 <ul style="list-style-type: none"> ・元気発進！北九州／北九州市スポーツ振興計画／元気発進！子どもプラン／第三次北九州市高齢者支援計画 他 ・施設の特徴、地域特徴をあらゆる方向から分析 ○施設の管理運営方針（事業計画）について <ul style="list-style-type: none"> 第三期：『これまで行ってきた事業（年長者・女性・子ども）の更なる充実と発展』 『子育てしやすい環境づくり（親子対象の子育て事業）』 他 ・年長者向けスポーツ事業：『末永くスポーツを楽しめる環境づくり』 達成感を味わいモチベーションを保つための「試合形式事業」／新たな仲間をつくるための「他施設指定管理者との交流会事業」／人との係わりを創り出す「レクリエーション事業」／北九州市介護予防事業受講修了者の受け皿「介護予防事業 OB クラス」 他 ・若年層向けスポーツ事業：『スポーツを“する子”“しない子”の二極化を解決する環境づくり』 モチベーションを維持・向上させるための「レベル別スポーツ教室」／大学運動部と連携した「ジュニアスポーツ教室」／憧れのプロスポーツ選手を招いた「プロ選手によるスポーツ教室」／スピナの現役ラグビー選手による「ジュニアラグビー教室」 他 ・子育てしやすい環境づくり：『親子で参加する子育て事業』 親子のスキンシップを促進する「0歳児からの運動指導」／運動を“する子”“しない子”の二極化を防止する「幼年期からの運動あそび事業」 他 ・その他のスポーツ振興事業 スポーツを始めるきっかけを提供する「サマースクール」／平日の施設利用率向上のための「学校部活動利用促進」／新規弓道愛好者増加を目的とした「初心者受け入れ体制の整備」／更なる運動環境改善のための「球場・運動場の年間予約一元管理」／さらに充実したスポーツ環境を創造するための「他指定管理者との合同事業」 他 ・文化事業、利便性向上施策 一人暮らしの方に気づきを与える「メンタルヘルス講座」／誰でも立ち寄りコミュニケーションを図ることができる「コミュニティースペース」／スピナ建築物管理ノウハウを活かした「バリアフリー施設提案」 他

<p>【有効性】 に関する 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○当社の特徴を活かした様々な有機的連携 <ul style="list-style-type: none"> ・人員配置連携「施設職員プール運用」／施設整備技術連携「施設間交流会開催」／施設運用連携「球場・運動場一元管理」／資機材連携「資機材一括管理」 ・西鉄グループ指定管理者との連携 ・長年にわたる指定管理施設運営実績により培われた、各指定管理者との連携 ○当社ならではの、“グループ会社を活用した施設広報”の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット／チャチャタウン／ラブエフエム国際放送／路線バス 等の活用 <p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北九州市、施設利用者、地域住民の皆様が“必要なもの”“望んでいるもの”を把握・理解 <ul style="list-style-type: none"> ・行政施策、施設特性、地域特性の把握 ⇒ 行政指針に沿った事業展開 ・利用者アンケートによるご要望把握 ⇒ 利便性向上施策 ○CS（顧客満足）活動の推進と実行 <ul style="list-style-type: none"> ・当社接客指導員による施設巡回と職員に対する指導の徹底。 ・当社ノウハウを活用した“室内プール結露”“屋外プール路面温度上昇”対策の実施。 ・自社施工による早急な不具合箇所修繕 → お客様の安全性確保と北九州市様の経費削減 ○お客様のご意見を把握する仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱／ホームページ／利用者モニター制度／連絡協議会開催 等 ○お客様のご意見を反映する仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・全指定管理施設職員への報告／お客様から頂いたご意見全てに回答(安心の提供) ○苦情対策 <ul style="list-style-type: none"> ・全社クレーム報告会→原因の解明→従業員対応の問題点→再発防止策→実行・施工・顧客対応 ○利用者への情報提供：施設利用・安全・交通・健康 他 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや新聞折り込みチラシなどによる、施設開放・イベント情報の提供 ・モニター画面やライブラリ設置による、スポーツ情報や知識の提供 ・熱中症指数モニターを活用した、熱中症危険度情報の提供 ・市政の取り組み情報の発信 ○サービスの質を維持・向上するための施策 <ul style="list-style-type: none"> ・スピナ互換パトロールによる「第三者的視点」でのチェック体制 ・“豊富な経験”“専門知識”を持っている当社社員を施設に配置することによる安全の確保 ・“多角的経営”“自社施工”という特徴を活かした、あらゆる状況への俊敏な対応（安全の確保）
--------------------------------------	---

	<p>【効率性】 に関する 取組み</p>	<p>(3) 指定管理料及び収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自社の特徴を活かした“安全を確保した上でのコスト削減” <ul style="list-style-type: none"> ・「臨時案件対応部隊」の活用による、“時間毎での職員適正配置” <ul style="list-style-type: none"> 【高い安全性確保】【質の高いサービスの提供】と【コスト削減】の両立 ・施設職員をプール運用することによる、指定管理施設全体の人件費削減 <ul style="list-style-type: none"> → 高い安全性確保 ・自社施工による委託費・中間管理費の削減 ・省エネ機器知識、ノウハウを活用したエネルギー削減 ・施設職員が率先して行う「職場改善活動」によるコスト削減 ・雨水利用による水道料金削減 ・消耗品一括大量購入による費用削減 ○施設利用者を増加させることによる、施設利用収入の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・各球場一元管理：無駄な利用予約を排除し、効率的な施設利用を実現 ・多種多様な自主事業開催し、スポーツ愛好者を増加 <ul style="list-style-type: none"> 安価な参加費の事業開催／ホークスジュニアアカデミー・ギラヴァンツとの協働事業開催／自治体・教育団体・スポーツ団体との協働事業開催 <p>【指定管理料提案額】</p> <p>平成27年度 112, 312千円 平成28年度 112, 312千円 平成29年度 112, 312千円 平成30年度 112, 312千円 平成31年度 112, 312千円</p> <p>(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○収入は「指定管理料」である <ul style="list-style-type: none"> ・当社自主事業は【収入＝支出】／理由：多くの方の健康増進を図るため、安い参加費設定！ ・自主事業に利益が出た場合、施設利用者に還元する ○支出は「スピナ特徴を活かした、徹底したコスト削減」 ○積算根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの運営実績に基づいた積算額（予想金額ではない！） ・利用者への『安全』と『サービス』を確保できる、必要最低限の金額（実績金額） ○再委託について <ul style="list-style-type: none"> ・当社の特徴を活かした“自社施工”による運営が基本 ・特殊作業についてのみ委託とする → 相見積もり・自社社員の立ち合いを原則とする。
--	--------------------------------------	--

	<p>【適正性】 に関する 取組み</p>	<p>(5) 管理運営体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スピナ・北スポ連の特徴：豊富な専門的知識・経験を持つ人員を保有 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設に「施設管理運営のプロ」「スポーツ振興のプロ」を配置／ハイレベルな運営が可能 ◎資格、経験について <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興：健康運動指導士／障害者上級スポーツ指導員／保健体育教諭／水泳A級競技役員／体力テスト認定員／テニススポーツ指導者／他、多数の専門的資格 ・環境管理：建築物環境衛生管理技術者／ビルクリーニング技能士／一級二級ボイラー技士／防火管理者／空気環境測定実施者／特定化学物質作業主任者／他、多数の専門的資格 ○当運営組織の“各種教育指導員”による巡回指導 <ul style="list-style-type: none"> ・接客サービス教育指導員／各スポーツ指導員／環境管理指導員／安全指導員 他 ○地元企業の太いパイプを活用した、地域住民や関係団体等との連携や協働による事業展開 <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市内の大学／近隣小中高等学校／市民センター 等との連携事業展開 ・大学と連携し、子どもたちに“多種多様なスポーツを体験する場”を創出 ・近隣の総合型地域スポーツクラブ3団体と連携、合同スポーツ事業の展開 <p>(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「コンプライアンスマニュアル」「個人情報ハンドブック」を活用した教育 <ul style="list-style-type: none"> ・“役員からアルバイト”まで、徹底した教育を実施 ○利用者の平等利用確保 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者上級スポーツ指導員による、「障害のある人に対する適切な配慮研修」実施 ・管理者の一方的な考えだけで施設運営が行われないよう、「利用者モニター制度」導入 ○利用者・職員の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ・当社は「安全第一主義」であり、常日頃からの安全教育徹底 ・当社「安全パトロール対象施設」として登録。定期的な職場互換パトロール実施。 ○防犯、防災対策 <ul style="list-style-type: none"> ・当社は「警備業」も生業としている → 施設職員には警備業務教育と同等の教育を実施 ・地域や施設利用者の安全確保の為、施設内・外の定時パトロールを実施 ・区役所・自治会・消防署等と合同災害訓練を実施
--	--------------------------------------	---

※各応募団体の年度毎の提案金額も記載すること

北九州市立桃園球場等6スポーツ施設指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成26年10月29日(水) 8:50~10:10
- 2 場 所 北九州市役所 5階 特別会議室A
- 3 出席者 (検討会構成員) 内田構成員(座長)、奥永構成員、河邊構成員、寺崎構成員、南構成員
(事務局) 市民文化スポーツ局スポーツ振興課スポーツ施設担当課長、施設管理係長、担当職員

4 会議内容

- 当日のスケジュール、審査結果の公表等について事務局より説明。
- 座長は引き続き内田構成員とする。
- 選定基準、採点の注意事項、プレゼンにおける注意点について、事務局より説明

- 応募団体(株式会社スピナ)より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 経費の削減といているが、人件費が5年間同額である。優秀な人材を確保するには、ある程度人材に資金を投入する必要があるのではないか。

(応募団体) 現在、既に優秀な人材を確保しているところであるが、学生や若い方はおおよそ2年周期で就職等されて辞めていくので、昇給までに至らないところである。ただし、優秀な働きをする方・能力の高い方については、時給の上乗せ等をしている。出る方、残る方、新しく入る方は、毎年同じ程度おり、横並びの金額になるため、同額にしている。優秀な人材については、業績に対する表彰制度や人件費の上乗せはしている。

(構成員) 自主事業の収益を人件費に回すことはできないか。

(応募団体) 優秀な人材がいることで、業務にかかる人員を減らすことができるため、その分、優秀な人材への人件費を回すことができる。

(構成員) 桃園スタジオが誕生したきっかけはどういったことか。

(応募団体) 桃園の施設はほとんどが屋外施設である。テニス等の教室をたくさんやっているが、悪天候時はどうしてもテニスが中止になる。女性は日焼けを気にする方、激しい運動をしたくない方も居る。そういった方にご利用いただくには、やはり室内での教室をする必要がある。そこで、桃園球場の空き室を鏡張りのスタジオにし、ダンスや

ヨガなどができるようにした。

- (構成員) 施設運用面での連携ということで、桃園の施設、ひびきコスモス、的場池で、利用調整をされているという提案であるが、どういう形態になっているのか。また、どのような課題を感じているのか。
- (応募団体) 施設の予約形態の提案というのは、以前は、予約の申し込みがあった際、抽選が行われたり、話し合いをして、使えなかった方は、新たに他の施設を探すしかない状態であった。
現在は、一元管理をすることによって、管理施設の中の他の施設の利用を提案できる。また、桃園運動場は、ソフトボールで2面利用すると、外野手同士がぶつかる場合があるため、ひびきコスモスであれば、広いので安全であるということ、利用者に提案している。一元管理することにより、利用者の手間を省くことができている、好評である。
- (構成員) これは、同一の指定管理者が管理しているので出来ることなのか、それとも、他の指定管理者同士でも連携出来ることなのか。
- (応募団体) 今現在は、スピナの中だけでやっているが、これからは他の指定管理者と連携を図っていくつもりである。実際に、的場池球場の利用では、管理者から、北九州市民球場の指定管理者に問い合わせ、空き状況を確認するなどし、少しずつ連携を取っている状態である。ただし、スピナが持っている施設の方が、情報を密に持っているのでやりやすいという面はある。
- (構成員) 女性向けのイベントが充実しているようだが、実際の女性スタッフの意見を取り入れたサービスや職場環境などはあるか。
- (応募団体) 運営委員会に女性が3名おり、施設を巡回している。女性ならではの目線で、プールのトイレットペーパーが湿気来ないようにタッパーに入れて保管したり、プールのかごをきれいにしたり、女性は活躍している。
- (構成員) 8年の実績の中で、事故はあったか。具体的にどのように対応したか。
- (応募団体) プールの中で、ご病気で亡くなられた方がいたが、監視員が救助・引き上げにかかり、その他の方々をプールから出して、すぐに人工呼吸をし、救急車を呼んだ。適切な対応ができたと思う。
車内の盗難が起こった際は、そのエリアの警備を追加し、区役所と連携し、見晴らしが良いように工夫したりしたところ、トラブルがなくなった。また、夜中に敷地内で傷害事件が起こったため、毎日、夜間パトロールをしている。
- (構成員) 少年へのラグビー指導を、スポーツを通じた子どもたちの基礎体力向上と健全育成の中の柱の一つとしているが、なぜ、ラグビーなのか。また、ラグビーをする環境が整っているか。安全対策はどのようなになっているか。
- (応募団体) スピナと新日鐵の今までの繋がり、ラグビーのクラブチームを、我々が後援会としてバックアップしている。また、子どものラグビ

ークラブチームが意外に多いことに気づき、これだけの人数が居れば、充実した、仲間と一緒に楽しめるラグビー教室が出来るのではないかと考えた。また、安全対策について、ラグビーをすると、グラウンドが芝で無い限り、どうしても擦り傷ができることはある。しかし、現在、子どものラグビークラブチームが利用している鞘ヶ谷競技場は桃園運動場と同じ土である。土の上で現在もプレイしているチームがあるということは、桃園運動場でも十分可能であると判断した。ひざ上の靴下やヘッドギアで安全対策を行っていききたい。また、市がラグビーのワールドカップの練習場所の誘致を行っていることも、ラグビーを柱の一つとした理由である。

(構成員) 北九州スポーツクラブ連絡会との金銭の支出割合はどうなっているか。

(応募団体) J Vでないので、支出はない。北スポ連には、スピナの運営についてアドバイスをもらったり、運営委員会での会議への出席をお願いしたりしている。また、自主事業の開催もお願いしている。その自主事業で、北スポ連に所属しているインストラクターの活躍の場を提供している。何かあれば、全てスピナが責任を負う。

(構成員) 現場の教室は北スポ連がやっていると思うが、北スポ連の特徴的な事業展開はあるか。また、桃園プールが老朽化している。指定管理者となった場合、プールをどのように活用していくか。

(応募団体) 健康づくりや、スポーツの発展ということで、様々な実績を上げている。具体例として、北九州市立健康づくりセンターに企画の段階から関わっており、指導者を派遣していること、健康づくりのためのパスポート事業、介護予防事業を行っている。

桃園での事業は、レディースのテニス大会に協力している。最近では、ベビーダンス等の子どもや女性に向けた健康教室をやっている。桃園室内プールの活用は、桃園市民プールは地域の利用者に非常に身近なプールであり、年長者の方の利用が多い。地域の大切なプールとして、建築物管理のノウハウを活用し、施設の長寿命化を図っていく。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

(構成員) 全体的に発展的な内容だと感じた。今後の取り組みも時流に沿ったものであり、女性目線でのサービス向上もあった。

(構成員) 全体的に安定していると感じた。スタジオを作って好評だということで、自信を持っていたと思うが、利用者からのアンケートで、評価いただいている点があればより説得力があり、よかったのではないかなと思う。

(構成員) 全体的に、真摯な姿勢で指定管理業務に向き合う高い意欲が感じられ、円滑な指定管理業務の遂行が期待でき、また、スピナの総合力を生かした取組が期待できる。

- (構成員) 次の指定管理を高いレベルで遂行できるのではと期待できる。
全国展開をしている企業と比べると、地元企業であるためか、客観的な指標でのマーケティングがもっと欲しい。熱意は大変感じた。
- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
(構成員) 安定的な人的、財政基盤は評価できる。
(構成員) 実績は十分に有り、課題の把握も真剣にやっており、次に活かす姿勢が認められ、好感が持てる。
(全構成員) 検討会の評価レベルは、指定管理者としての適正の管理運営の理念、人的・財政基盤の項目について4、実績・経験の項目について5が妥当であると考えている。
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定。
(構成員) 新規事業も具体的な提案がなされており、親子参加の事業は時流に合っていると感じた。
アンケートの満足度は低く設定されているように感じた。
(構成員) 色々な教室に工夫がみられた。教室のネーミングも、「足腰シャキーン教室」など、顧客の興味を引くものになっている。
(構成員) 自主事業等について積極的に行っており、高く評価できる。
(構成員) 地域課題を踏まえ、多世代を対象とした意欲的な計画となっている。また、他施設との連携も十分取り組む姿勢が見られる。
(全構成員) 検討会の評価レベルは、有効性の設置目的の達成、利用者満足向上の項目について4が妥当であると考えている。
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
(構成員) プールは老朽化しているが、維持・管理については企業努力によるところが大きい。
(構成員) 妥当な提案を行っており、特に問題は感じられない。
(全構成員) 検討会の評価レベルは、効率性の指定管理料及び収入、収支計画の妥当性及び実現可能性の項目について3が妥当であると考えている。
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
(検討員) スピナの総合力を活かした十分な体制の構築が期待できる。平等利用・安全対策についても必要な基準を満たすものと考えられる。
(全構成員) 検討会の評価レベルは、適正性の管理運営体制、平等利用等の項目について4が妥当であると考えている。

- 検討会としての検討結果（総合的な所見）について
これまでの事業を発展させる内容であり、また、応募団体の総合力を活かした提案となっている。北九州市立桃園球場等6スポーツ施設の業務を行うのに十分な適格性を有していると考ええる。

- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。